

讚嘆さんたんの詩うた・上卷  
〈若人よ一道にあれ〉

《目次》

はじめに〈細川 巖〉● 1

第一章 若人よ一道にあれ

9

第二章 念願は人格を決定す

63

第三章 真実のみが末すえとお徹る

113

仏語解説 ● 151

あとがき 〈松田正典〉 ● 165

索引 ● 169

第一章 若人よ一道にあれ

性格の強さ必ずしも真の強さにあらず

性格の弱さ必ずしも悲観するに足らず

真の強者とは何をいい弱者とは何をいう

いわく 一道に生きて変わらざるを強者とい

いわく 道において退転するを弱者という

雨にも風にも火にも水にも

清しやうじやう浄なる願がん往おう生じやうの一道いちだうにあれ

たとい凡俗ほんぞく無責任むせきにんの疑ぎ謗ぼうにあうも

諸しよの聖せい尊そんの重ちゆう愛あい 汝なんじにあらむ

(九八)

道を求めることなき人の一生は

そのままが死んでいる

雪も 雨も 坂も 海も さらに火も越えて道を求めるもののみ

永遠不死えいえんふしの大道は開かれる

一度求めても得られぬ

二度 三度突進とっしんしても解決がつかぬ

されど 汝なんじの胸底には

何物かの力が頭をもたげてじっとしていることをゆるさぬではないか

無上むじょうしやうしん正真の一道

進めよ進めよ 二度破れても三度出でよ

三度与えられずとも四度五度立ち上がって精進しやうじんせよ

求める者にのみついに解決は与えられる

強く生きたいか

それについてははっきりとした断案だんあんがほしいのか

はっきりとした答えがある

人類総がかり 全宇宙総がかりで 理想を実現しつつある大きな流れがある

それをはっきり認識して

その本流の中に我われを見いだし

その大業たいごうに参加せよ

手に持つ苦杯くはいも歴史的意義において

汝なんじに決して失望を与えないであろう

汝は偶然の存在ではなくて

歓喜と信念と希望と使命に輝く希有人けうにんである

(二六四)

青年よ

哲人であれ

ものを深く考える哲人であれ

一切を疑う苦悶くもんの日を持って

しこうして明確なる断案だんあんを握る哲人であれ

青年よ

強者であれ

名刀のごとき強者であれ

失敗してもいい おびおびするな

七転八起しちてんはっの強者となれ

社会人類は名刀なんじのごとき汝を待つ

若人よわこうじ

くれぐれも君に同情する

だがわたくしは 君の周囲が悲惨ひさんであり 淋さびしく孤独であることに同情するよりも

もつと、君が温室の花のごとく 今日まで弱々しく育ってきた君の過去の幸福に同情する

若人よ

その逆境を喜べ

枯れる葉は枯らせよ 落ちる花は落とせ

しこうして今一度

霜雪そうせつと戦って 芽を出し枝をのばし 花を咲かせよ

汝なんじの真価は ただそこからのみ生まれ

汝の光は 苦闘くとうによつてのみあらわれる

あえて叱咤しったす

青年よ 涙の谷底より起たち上がれ

(四一三)